

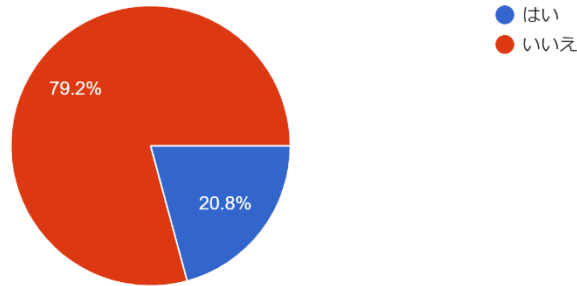
2022年ロシア語+スペイン語・ポルトガル語・イタリア語

アンケート結果

教科書入手について

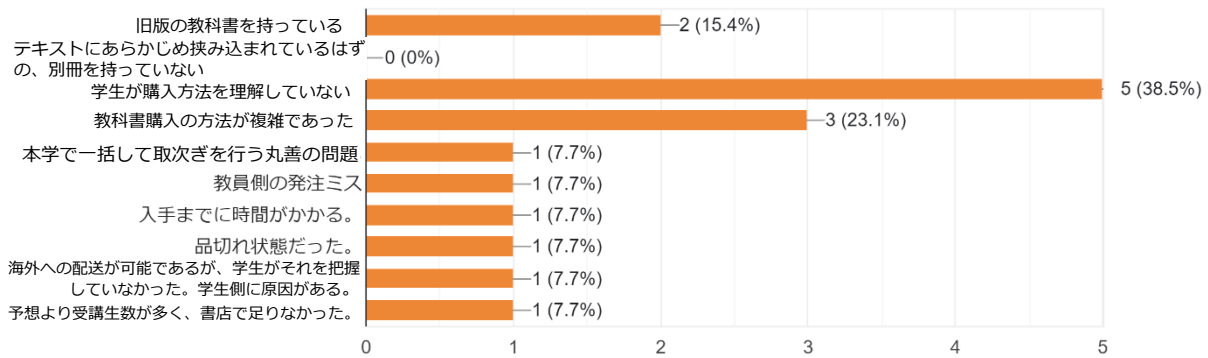
1. 教科書入手に関して混乱（設問2参照）のあったクラスがありましたか？

77件の回答



2. 混乱の原因と思われる事象をお聞かせください（複数回答可）。

13件の回答



上記で「その他」をお選びくださった先生、もし差し支えなければ詳細をお聞かせいただけないでしょうか。

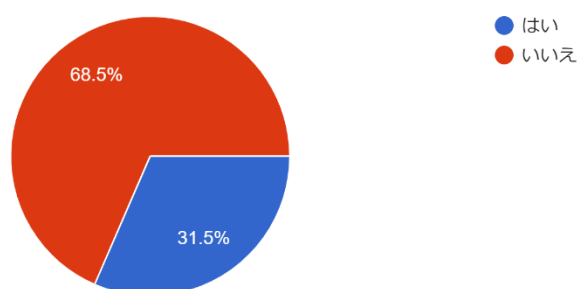
- ・今年が大学全体の学生数が多くなったようで、初日の授業に間に合わなかった学生が出ました。
- ・大学の書店はオンライン注文し、学生に発送しているのですが、既定の時期に入手しなかった学生が、「オンラインの注文は締め切ってしまい、もう秋学期まで入手できないと言われた」と連絡してきました。そんなはずはないと、学生に詳しく聞くと、一番原始的で単純な、「大学の書店に行って聞いてみる」

ということさえしていないことが分かりました。実際にキャンパス内にある書店に行く、という発想がないのがコロナ世代なのかとびっくりしました。また毎年のことですが、学内の書店では送料がかかるので、学生はすべての教科書をまとめて発送してもらい送料を節約しようとしています。そのため最初の1, 2週間は教科書が手元にない状態で授業をせざるを得ません。対面で販売してくれれば初回の授業から教科書が手元にあるはずなのですが、教員はもう慣れたので、どうにかなってはいます。

- ・履修登録から初回授業までの期間が短かったため、テキストが手元になかった。
- ・昨年とバージョン違いの別テキストを採用したところ、大学側が昨年度と同じと理解し（大学に提出したシラバスの記載は変更していたが、名称が似ていたためか）、昨年度の教科書を発注していた。
- ・学生がテキスト申し込みの締め切りを逃してしまい、構内にある書店に「書籍」として発注できないか尋ねたところ、「ネットから、しかも学内書店独自の QR コードを通してでしか発注ができない。また、QR コードのチラシは店舗でしか渡さない、ファックスは送れない」と言われました。さらには御社のテキストについては当該ネット通販では扱っていないから無理だともいわれました。同じ書店でも別の大学では個別に発注することはできました。
- ・例年と同じタイミングでの購入だったと思うのですが、半数以上の学生に授業開始までに届かず、入手方法が自宅配送や書店受取など複数あったようで混乱が生じていました。
- ・出版社様のお力の及ぶ問題ではないと思います。
- ・大学の教科書販売部に十分な在庫がなく、追加注文のあとで学生が教科書を購入できたのは連休明けでした。
- ・例年履修者数が少ないため、人数の予測を低めにしたので、生協で売り切れて個別注文した学生がいた。沢山取っても余るし、難しい。仕方ないことと思う。

3. 学生から教科書の入手方法についての質問はありましたか？

73件の回答



4. 教科書はいつごろから（大半の）学生の手元にありましたか？

73件の回答



その他にかご不明な点、お気づきのことなどございましたら、こちらにご記入ください。

- ・遅れた学生も2週間には届いていました。
- ・教員用サンプルをメルカリに出品されている方がいらっしゃり、大学生協等で購入しそびれた学生が、そちらから買おうとしています（した学生もおります）。正規の値段ではないので、安かったり高すぎたりと色々ですが、学生には買わないように促しています。大変残念な状況です。
- ・キャンパスでの教科書販売はスムーズに行われているようで、初回から教科書を購入している学生が過半でした。ごく例外的になりますが、外国からオンラインで授業を受けている複数の学生から、4月中に入手できない／できなかったという連絡をもらいました。
- ・大学書店の取り寄せ数（見込み）と授業登録者数（実際）が違っていると、買えない学生が発生します。
学生数は毎年変動しますのでどうしようもないです。たとえば去年10人だったクラスが今年は37人になってこちらもびっくりでした。幸いコロナの最初の年に作成したPDFがあるため、あらかじめClassroomの「授業」に掲示しておくことで何とかなっています。買えなかった学生に対しては、「注文しないと永久に買えませんよ」と言っています。
- ・1週目の授業に間に合わないケースが幾つかありましたが、大きな混乱はありませんでした。
- ・例年、教科書販売で在庫がなくなることがなかったので、4月の入荷の遅滞はとても気になっておりました。私たち講師も原因を考えているところでしたので、今回のアンケート調査の結果をぜひ教授いただき参考にしたいと存じます。
- ・対面授業になり教室へ行くと、セカンドハンドのものを購入している学生が以前より見受けられるようになっていました。